

学年	3 学年	実施期間	6 月 1 日 (月) ~ 6 月 5 日 (金)
----	------	------	---------------------------

教科	科目名	単元又は題材	学習の目標	課題等	評価について
国語	現代文 B	小説『美神』	<ul style="list-style-type: none"> 小説を読んで、登場人物の性格や心理を的確に捉え、内容について深く理解している。 作者や表現についての知識を身につけている。 	1. (前回同様) 『美神』プリント①～⑥をやる。プリンターのある人はうち出したプリントに記入。プリントもらった人はそれにやっておく。プリントない人は、HPを参考に自分で写し、提出は6月5日までに。 2. (前回同様) 『漢字の演習』p156-p161をレポート用紙にやる。各語につき、最低、読み1回、漢字(書き)2回は書くこと。毎日1～2ページずつ練習。日付も書く。表紙に新クラス番号、氏名を忘れずに。左上ホチキス留め。提出は次回登校日6月5日までに。	1. プリントの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲、書く力、読む力、知識理解) 2. 提出状況、書き方を見る。(関心・意欲、知識・理解)
	古典 B	古典 B	『大晦日は合はぬ算用』	<ul style="list-style-type: none"> ○古典文学・近代(江戸時代)文学に触れ、その価値観や美観を知る。 ○グーグルクラスルーム上に掲載の語彙の読み方を意味の小テストに取り組む。 	提出したプリントから、「読む力」の観点評価をする。小テストの実施もあり得る。
	国語表現	小論文	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を用い、課題に対して自分なりの問題意識をもち、自分の考えを深めている。 適切な表現で文章を書いている。 	(前回同様) 「新型コロナウイルスは我々に何をもたらしたか。」という題で、前回のメモ(レポート)を参考に、文章を書きなさい。(600字から800字程度)。原稿用紙が望ましい。ない人は、字数がわかるように、20字×20字で書くこと。提出は、6月の最初の登校日。メモ(レポート)未提出の人も6/5までには提出。	提出物で評価(関心・意欲・態度、書く能力)
地理歴史	世界史研究	<ul style="list-style-type: none"> ○環大西洋革命とパクス=ブリタニカ 振り返り学習 	<ul style="list-style-type: none"> ○「環大西洋革命」の全体像と後の世界に与えた影響を考察する。 ○この単元で習得した歴史的事項に関する出来事や人名などの知識を確実なものにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの課題学習の成果を振り返り、「環大西洋革命」にかかわる諸地域相互の関係と影響について考察する。 ○すでに配布してある「まとめプリント」を利用して、歴史用語の知識を確実なものにする。 *詳細は、G Suiteの指示を参照する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、自ら問いを立て、諸資料を適切に活用してレポートを作成している。(思考・判断・表現)(資料活用)の技能) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)
	日本史研究	<ul style="list-style-type: none"> 幕府政治の転換 経済の発展 学芸の発展と元禄文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・武断政治から文治政治への転換について、幕府の安定と秩序の確立の視点から理解する。 ・幕藩体制の安定がもたらしたものについて考える。 ・元禄文化が開花したこと、幕府の学問として発展する儒学など諸学問についても理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> プリント課題に取り組む。 ※課題のプリントはclassroomにあげるので確認してください。 ※この内容はすでにワークで取り組んでいるので、復習としてプリントを使用してください。 ※課題は授業時に確認するものと、classroomで提出するものがあるので、コメントを確認して対応してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、諸資料を適切に活用し考察している。(思考・判断・表現)(資料活用)の技能) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)(思考・判断・表現)

	地理B	世界の地形	・地球規模の大地形について理解する。	教科書のP30～31を参考にプレートテクトニクス理論における、種類のプレートの境界の特徴を図解を含めて説明するレポートを作成する。	学習の目標にある事項内容について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)(思考・判断・表現)
公民	政治経済	日本国憲法の基本的性格	民主政治における、政治参加の重要性と民主社会で生きる倫理についての自覚を深める。	教科書P25の憲法改正への動きをレポート1枚にまとめ、2枚目のレポートに憲法改正の賛否について自己の見解をまとめなさい。	レポートの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・思考・表現・資料活用の技能・知識・理解)
	現代社会研究	・現代国家と民主政治 ・日本国憲法の基本的性格 ・日本の政治機構と政治参加	民主政治における個人と国家について考察し、政治参加の重要性と民主社会で生きる倫理についての自覚を深める。	社会契約説について学びましょう。Pdfファイルがあります。	・政治に積極的に興味を示している。(観点1) ・人権の諸課題について考察している。(観点2) ・民主政治に関する資料を活用している。(観点3) ・民主政治の基本原則を理解している。(観点4)
数学	数学III	関数の極限 いろいろな関数と極限 関数の連続性	○関数の極限の性質について理解し、基本的な関数の極限を調べることができる。 ○指数関数・対数関数、三角関数の極限を調べることができる。 ○関数の連続性及び中間値の定理について理解する。	数学IIIの教科書P112～P128の例題および問をノートまたはルーズリーフに解く。(6月5日に提出すること) 詳しくはG Suiteを参照してください。	課題内容について ・問題を解く際に必要な数式が書かれているか(技能) ・要点が抑えた解答ができていないか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか(関心・意欲・態度)
	数学応用研究	○数学B 数列・ベクトル ○数学II 式と方程式 図形と方程式 いろいろな関数 微分法・積分法	○等差数列・等比数列・漸化式・平面ベクトル・空間ベクトルなどについての基本問題を解くことができる。	①『リンク数学演習1A+2B』のP50～P57をノートまたはルーズリーフに解くこと。問題集に書き込んで提出しないこと(受け取れません)。 ②『リンク数学演習1A+2B』P88～P105の内容について学習をする予定なので、予習をしましょう。	課題内容について ・問題を解く際に必要な数式が書かれているか(技能) ・要点が抑えた解答ができていないか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか(関心・意欲・態度)
	理系数学研究	I・A+II・B basic	○数学IIの応用問題の解き方をみにつける	リンク数学演習I・A+II・B P88～P105の間を解く。	課題内容について ・問題を解く際に必要な数式が書かれているか(技能) ・要点が抑えた解答ができていないか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか(関心・意欲・態度)
	生物	刺激への反応 動物の行動	効果器に関して筋肉を中心に取り上げ、その構造を理解する。動物の行動については、神経系における情報の流れと関連づけながら理解する。	①教科書P241～251を参照し、Google classroomに載せたPDFファイルの課題プリントに取り組むこと。 プリンターのある人は課題を印刷し解答を記入すること。ない人はノートまたはルーズリーフ(A4サイズ)に解答を記入し提出する。 ②今までの未提出課題も同時に提出すること。 *クラス・出席番号・氏名を忘れず、左上ホチキス留めして提出すること。	プリントの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解)

理科	生物研究	DNAの構造と複製	「生物基礎」で学習したDNAの構造と複製について、その詳細なくみを理解する。	①教科書P98～105を参照し、Google classroomに載せたPDFファイルの課題プリントに取り組むこと。 プリンターのある人は課題を印刷し解答を記入すること。ない人はノートまたはルーズリーフ（A4サイズ）に解答を記入し提出する。 ②今までの未提出課題も同時に提出すること。 *クラス・出席番号・氏名を忘れず、左上ホチキス留めして提出のこと。	プリントの内容、提出状況で評価する。（関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解）
	物理研究	気体分子の運動、熱	熱力学および気体分子運動論に関する基礎的知識を身に付け、活用する。	HPにアップした課題に取り組む。プリントアウトできない場合は、ルーズリーフやノートに解くこと。	プリントの内容、提出状況で評価する。（関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解）
	化学研究	○化学平衡 ・可逆反応と化学平衡 ・化学平衡の移動 ・電離平衡	○可逆反応と化学平衡についてその関係を理解し、平衡の移動とその原理および条件変化に伴う移動についても理解する。	○化学の教科書P102～111を読み、教科書「P110～111のトレーニング」、ベストフィット化学の「P66の確認事項」「P71の類題89」「P72の練習問題93」を解答する。（5月2週分） ○化学の教科書P102～111を読み、HPに載せた課題プリントに取り組む。（5月3週分） ○化学の教科書P112～117を読み、教科書「P118のトレーニング」をノートまたはレポート用紙（ルーズリーフ）に解答する。（先週分） ○前週までの課題が終わった者は、授業初回は教科書P92～101の「化学反応の速さ」等からスタートするので確認しておく。（Google classroomでも補足します）	○前週までの評価基準をもとにプリントの内容、提出状況で評価する。（関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解）
保健体育	体育	○体育 スポーツの競技種目	スポーツの競技種目について、歴史・特性・ルール等について理解する。	スポーツの競技種目の中から興味のあるテーマを決め、レポートを作成する。 テーマの例：バスケ、バドミントン、ソフトボール、柔道、器械運動等 主要内容：その競技種目の歴史、特性、ルール等 レポート作成にあたって 1. A4サイズ。枚数は表紙を入れて2枚以上。 表や図の挿入など、書式自由。 2. 表紙をつけること （テーマ、学年、クラス、番号、名前） 3. 手書きであること 4. 考察（感想や考えたこと）を入れること 5. レポートの最後に「参考文献」を入れること	レポートの内容により、「知識・理解」「思考・判断」の観点で評価する。 【評価基準】 ・スポーツの競技種目について、必要な情報を比較したり、分析したりしてまとめた考えを説明することができる。（思考・判断） ・スポーツの競技種目について、書き出すことができる。（知識・理解） 提出：6月8日以降提出 ★これまでのレポートの提出について★ これまでの3部のレポートは、6月5日（金）の登校日に提出締切とします。
芸術	音楽総合				
	美術総合	○美術鑑賞	○古今東西の美術作品鑑賞を通して人間の社会・個人の多様性や精神世界に触れると共に美術を特別なものではなく身近な存在の文化であることを認識する。	引き続き美術関係のTV番組を鑑賞する習慣をつけるようにしてください。番組から学んだことや感想を、TV番組の名称や鑑賞した日付と共に数行程度（メモ程度で可）にまとめる習慣をつけてください。レポート用紙または美術専用のB5サイズノートを使い、授業時に提出してください。	提出されたものについては評価の材料にします。 ・学習の目標にある事項について、主体的に学び取るうとしている。（美術への関心・意欲・態度） ・学習の目標にある事項について、感性や想像力を働かせて、造形的美しさや作者の意図などを素直に感じ取っている（鑑賞の能力）

外国語	コミュニケーション 英語Ⅲ	英語 4 技能型テストへのアプローチ② (前回と同様です)	○文脈を把握しながら、わからない単語でも推測して読み進めることができる。 ○与えられた情報や条件にあった英文を書くことができる。	・英語 4 技能型テストへのアプローチ②の別冊ノートのP14～23, P26～39の問題を解く。P32～P39はスピーキングパートですが、声に出して読んだり、話したりしてみましょう。(別冊ノートの内容は提出する必要はありません。) ・英語 4 技能型テストへのアプローチ②のTEST1～TEST 4 (P6～P34) のReadingとWritingのパートの問題をルーズリーフかレポート用紙に解く。今度登校する時に提出する。	○問題の解答を次の評価基準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・各段落の内容と、全体の話の流れを理解できている (理解の能力) ・与えられた情報や条件に合った英文を書くことができる (関心・意欲・態度)
	英語表現Ⅱ	なし			
	英語会話	分野別 1 0min. トレーニングブック 第10回から第13回 pp. 11-13	日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解することができる。	分野別 1 0min. トレーニングブックの第10回から第12回までをCDを聴いて解答を書き、最初の授業で提出すること。冊子の裏面に氏名等を記入しておくこと。前回提示した課題に続いて、この課題に取り組んでください。前回までの分 (第1回～第9回) がまだできていない人は、それも完成させること。	課題内容について ・CDの音声を正確に聴き取れているか (技能) ・正確なスペルで解答が書けているか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか (関心・意欲・態度)
	英文読解	Intro1～Section3までの復習 Section4の予習	○問題解答を中心に、英文の内容把握に積極的に取り組み、学んだ知識を活かしつつ体系的に英文を理解する。 ○テーマに関する内容や知識に自ら興味を持って理解を深める。 ○時制に注目し、英文の流れをつかむ。	Intro1～3とSection1～3をG-suite上の解答例で答え合わせを行ってください。再開が近づいてきましたので、今までと同じ要領で、Section4の予習を進めてください。 Intro1-3とSection1-3は6/5 (金) に提出しましょう。G-suiteの確認もしてください。	○レポートの内容・振り返りを次の評価基準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・課題に熱心に取り組む、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・英文の概要を把握できる。(理解) ・テーマに関心を持ち、言語や文化等についての理解を深めようとする。(知識・理解)
	英語語法理解				
家庭	子供の発達と保育	子どもの遊び	○遊びの発達と意義を考える ○児童文化財と伝承文化について知る	折り紙作品を二つ作り、折り方をわかりやすく、レポートにまとめる。	・子どもが興味を持つ作品選びができたか。 (思考・判断・表現) ・レポートが明確にまとめられているか。 (知識・理解)
情報	社会と情報	4章 コミュニケーションとネットワーク	○これまでの復習	教科書準拠問題 (プリントNo. 9)	○これまでの内容を理解しているか。
総合的な探究の時間					